

1年 技術・家庭（技術分野） シラバス

1 技術・家庭（技術分野）の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成します。

2 教科における重点目標等

技術に必要な基礎・基本の知識及び技能を習得できるようにします。

習得した知識及び技能をもとに日常生活の中から問題を発見して課題を設定、解決に向けた話し合い活動を行い、計画、他者意見、実践し、さらに家庭や地域で実践できるようにします。

3 学力を向上させる方法

- (1) たくさん発表する機会を設け、自信をもって意見を言える雰囲気のある授業をつくります。難しく考えず、普段の生活を振り返りながら学習に取り組みましょう。
- (2) 理解を深めるために、実験や実習を取り入れた授業を行います。積極的に取り組みましょう。
- (3) 生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに、楽しく授業を進めます。いつでも、どんなことでも質問してください。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	技術に関する基礎的・基本的な知識が身についているかを評価します。 生活に関する技能がしっかりと身についているかを評価します。	レポート、ノート・学習プリント、知識の習熟状況、定期テスト 作業・実習の様子、技能の習熟状況、完成作品
思考・判断・表現	生活をより良くしようとするものの見方や考え方ができているか、問題解決にむけた思考の過程やアイデアを評価します。	実習記録、計画・記録、既習事項の活用
主体的に学習に取り組む態度	技術に興味を持っているか、授業に真剣に積極的に取り組んでいるかを評価します。	作業や実習への取り組み、授業の様子、忘れ物、作品・ノート等の提出物

5 家庭学習の仕方

技術・家庭は、生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに授業を進めます。自分の生活を振り返り、既習後は、生活の中で実践し習得しましょう。

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
2学期 (～10月) 1学期		(家庭分野)
2学期 (～11月) 3学期	<p>ガイダンス 生活や社会における技術の役割</p> <p>A. 材料と加工の技術 ★生活や社会を支える材料と加工の技術 ★さまざまな材料と加工の技術 ★製図 ★設計 ★製作、木材による製作 ★材料と加工の技術と私たちの未来</p> <p>D. 情報の技術 ★生活や社会を支える情報の技術 ★身の回りにおける情報の技術 ★コンピュータの構成 ★情報のデジタル化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校ではなかった教科ということで、世の中にある技術を知ることによって3年間の学習の見通しをもち、自立した生活者をめざします。 ・世の中にあるたくさんの材料の性質や加工方法を知ることによって適した材料や加工を選べるようにします。 ・工具・機械を安全かつ適切に使用できる能力を身につけます。 ・等角図法や第三角法による正投影図を身につけます。 ・安全・適切に材料取り、切断、部品加工、組み立て、仕上げ、必要に応じて改善、修正できるようにします。 ・よりよい生活の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していく態度を見につけます。 ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとする態度を育てます。 ・情報のシステム化に係わる基礎的な仕組みを身につけます。 ・ワープロ用ソフト（ワード）を使い、自己紹介や製作のまとめを作れるようにします。

※技術分野は以下の4つの内容を3年間で学習します。A. 材料と加工技術の技術 B. 生物育成の技術 C. エネルギー変換の技術 D. 情報の技術